

29M-am08

褐藻ホンダワラ *Sargassum fulvellum* 由来糖鎖分子の探索と生物活性の評価
○駒井 栄子¹, 李 貞範¹, 林 京子², 宮原 龍郎², 林 利光¹ (¹富山大院薬, ²富山大院医)

【目的】我が国は四方が海に囲まれている地理的特性から、海藻を古来より有用な食用資源として人々が利用してきた。また、日本列島及び東アジア沿岸にはホンダワラ科の褐藻が広く分布しているが、これらの褐藻類が本草綱目に生薬「海藻」として記載されている。近年、高齢者の増加とともに、癌や生活習慣病患者も多くなっているが、これらの人々は、免疫機能が低下しているため、感染症に罹患しやすくなっている。我々は、「食用藻類を対象とした抗ウイルス活性物質や生体免疫機能調節物質の探索研究」を展開中であるが、これまでに、藻類由来多糖体が抗ウイルス活性や免疫調節作用を発現する有用分子であることを見出してきた。今回、ホンダワラ科の褐藻ホンダワラ *Sargassum fulvellum* から熱水エキスを調製し、本エキスに含まれる多糖体の分離・精製、及びそれらの生物活性の評価を試みたので報告する。

【方法・結果】実験材料のホンダワラは、理研ビタミン株式会社より供与された乾燥粉末を用いた。ホンダワラの乾燥粉末から熱水抽出エキスを調製し、本エキスをイオン交換水に対して透析した。透析内液を陰イオン交換クロマトグラフィー (Toyopearl DEAE-650M) により中性多糖含有画分 (1画分) と酸性多糖含有画分 (3画分) に分画した。それぞれの画分について、さらにゲルろ過 (Sephacryl S-300HR など) により多糖体を分離・精製した。現在、それぞれの多糖体について各種スペクトル分析による構造解析を実施するとともに、それらの多糖体の各種ウイルスに対する増殖抑制作用や骨吸収抑制作用について評価中である。